

## 会 務 報 告

昭和61年5月12日(第30回)、6月18日(第31回)に理事・監事会を開催し次の事項を決定した。

1. 本歯学会も創設後4年を経て、会則に運営上適切を欠く点もみられるようになったので、会則検討委員会にて別項の改正案を作成した。主な改正点は、①歯学部全教授を理事とする。②このなかより指名により役員を決定する。③会則の改正、会計報告等は総会の承認事項であったが、本案では常任理事会、理事会、評議員会にて審議・決定し、総会に報告することとした点が主な事項である。
2. 旧会則による承認のため8月1日に評議員会、臨時総会を開催することとした。

昭和61年8月1日、評議員会、臨時総会を開催し、新会則(別頁掲載)の承認、同日施行、およびこれによる新役員を下記の通り決定した。

会 長 富田喜内  
 専務理事 岡田泰紀  
 常任理事 (庶務担当) 矢嶋俊彦, 井藤信義  
 (会計担当) 武田正子, 猪股孝四郎  
 (編集担当) 奥山富三, 大野弘機,  
 金子昌幸  
 (企画担当) 金澤正昭, 松本仁人  
 監 事 結城重之, 市田篤郎

昭和61年8月27日(第32回)、11月5日(第33回)に常任理事、監事会を開催以下につき審議決定した。

1. 東日本デンタルトピックスの発行について

本年3月第3期生が卒業し、同窓生約330余名が全国で活躍している。この諸兄は同時に本学会員でもあるところより最新歯科医学、医療の情報を提供し、母校、同窓会員内での絆を深めることを目的として、同窓会、父母後援会(教育振興会)の協力を得て学会より、第2雑誌“東日本デンタルトピックス”の発行が決定された。

2. 昭和61年度本歯学会定期講演会について  
 本学歯学部同窓会の協賛を得て、昭和61年11月22日(土)下記の演題、講師で行うこととした。

歯学会講演会(午後2時開催歯学部第4講堂)

- (1)第64回 IADR ハーグ大会に出席して

東日本学園大学歯学部歯科保存学第2  
 講座 松田浩一教授

- (2)高齢者における薬物投与の問題点

東京医科歯科大学歯学部歯科薬理学講座  
 小椋秀亮教授

上記講演会は参加者約80名をかぞえ盛会裡に終了した。

3. 学会事務処理の円滑迅速化のためオフィスコンピューター「USAC カマロード」(内田洋行社製)の購入が決定され、12月8日納入、昭和60年度より稼働の予定である。
4. 昭和62年度総会、第5回学術大会について  
 表記の総会、学術大会を昭和62年2月28日(土)開催予定とし、担当は歯科補綴学第2講座(坂口邦彦教授)、また演題募集は12月20日(土)申込メ切とした。